

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書



※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。
- ④ 提案書、添付資料を審査員以外に配布する際は白黒コピーとなります。

整備提案名 (25字以内)	阿久和北部見守り合い拠点・大きな傘「みまもり広場」
提案グループ名 (25字以内)	阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	阿久和北部連合および地区社協が「代表者会議」を組織し、阿久和北部内の自治会及び各種団体が共に連携し、様々な課題解決に向けて活動している。平成18年第一期地域福祉計画策定を機に、平成20年見守り合いネットワーク構築のために実行委員会を立ち上げ、安心して住み続けられる地域づくりを推進している。
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	瀬谷区 阿久和東1丁目 阿久和向原第二公園 ※位置図及び現況写真(各A4判1ページ)を添付してください。
整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	広いスペースの公園を最大限に利用した見守り合いの拠点づくりを目指す。その核として建物をつくる。建物は住民の一体感を培うため、建設段階から住民が携わり、出来る限り自分の手で建て上げる。乳幼児親子や高齢者の安らぎの場として、又、安心を求める相談の場、ボランティアグループの打ち合わせの場、簡単な催しものの場、防災の拠点等に活用。広い縁側付きの約10坪の建物は仕切りがなく、使用目的に応じパーテーションを利用し、相談コーナー用スペースを設ける。建物があることで急な雨にも対応できる。公園利用を充実させるため縁側下等に収納スペースを設ける。建設場所は、見守りの場として公園が見遠せ、かつ安らぎ・憩いの場として樹木との一体化も図った位置とする。 整備費用の概算額：約 500 万円
整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年前より、誰もが安心して暮らし続ける為に、防災と日頃の見守り合いの観点から「見守り合いシステム」の構築に取り掛かる。 ・ 地区内の自治会館保有率は低く(11自治会中4自治会)、かつケアプラザも地区内にはなく、区役所も遠い。 ・ 見守りの事業も行っているが、開催場所が東部の自治会館に偏ってしまう。整備場所は地区のほぼ中央にあたる。 ・ 自治会館や集会施設のように、申込みの手続きを経なくても、いつでも・誰もが気軽に集える場所が見守り合いには必要。 ・ 現在の公園利用は利用者毎にばらばらに利用されている。年齢性別を超え交流が図れる地域の庭としての公園が必要。

<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<p>乳幼児から高齢者までが気軽に集う事により、子育ての悩みをベテラン母親(おばーちゃん)が解決、一人暮らし高齢者の淋しさの解消、鍵っ子の子どもが定年退職後のおじさんと交流、オープンカフェやフリーマーケットの開催、ケアプラ等の出張相談、様々な情報の発信場所。これらを通し、お互い様の中で誰もが安心して暮らせ、地域や自治会の存在が大切なものとなり近隣の見守り合いに繋がっていく。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<p>運営の主体は実行委員会。現場には核となる事務局人材と、日々の世話は当面社協のメンバーが当番制である。将来的には利用者が運営者になるよう働きかけて行く。 維持管理について建物は実行委員会で営繕係を設け、清掃については利用者を中心に行う。費用の光熱費については区役所や区社協の補助金制度を利用。事業経費は地区社協事業費や資源回収費を充てる。何よりも安全を重視し、何事も“自分持ち”のスタンスで運営する。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>○“見守り”と言うコンセプトの延長線上にあり、自治会の範囲をこえた活動が可能となる。連合自治会と地区社会福祉協議会が合体した体制だからこそ可能な活動である。人が憩うための場である公園を文字通り活用することによりその役割が果たせる。 ○実行委員のメンバーには、阿久和北部で誕生し活躍している「おやじの広場」のように多才な才能や技術をもっている人が多く、建設に関して力強い存在。又、近隣の中学校はボランティア意識が高く地域内の活動に協力を得ている。 資金的には、地区社協費や資源回収費を充てる事ができる。 ○安心して暮らし続けられる地域。一度出て行っても戻ってきたくなくなる地域。誰もが笑顔で、あいさつが飛び交い、元気な子どもの声が聞こえ、さりげない見守りと遠慮ない見守られがごく日常の風景。それらが大きな見守り傘のもと繰り広げられる。</p>

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
 - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
 - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
 - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
 - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
 - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。
 - ・バザーなどで資金を集められそう。

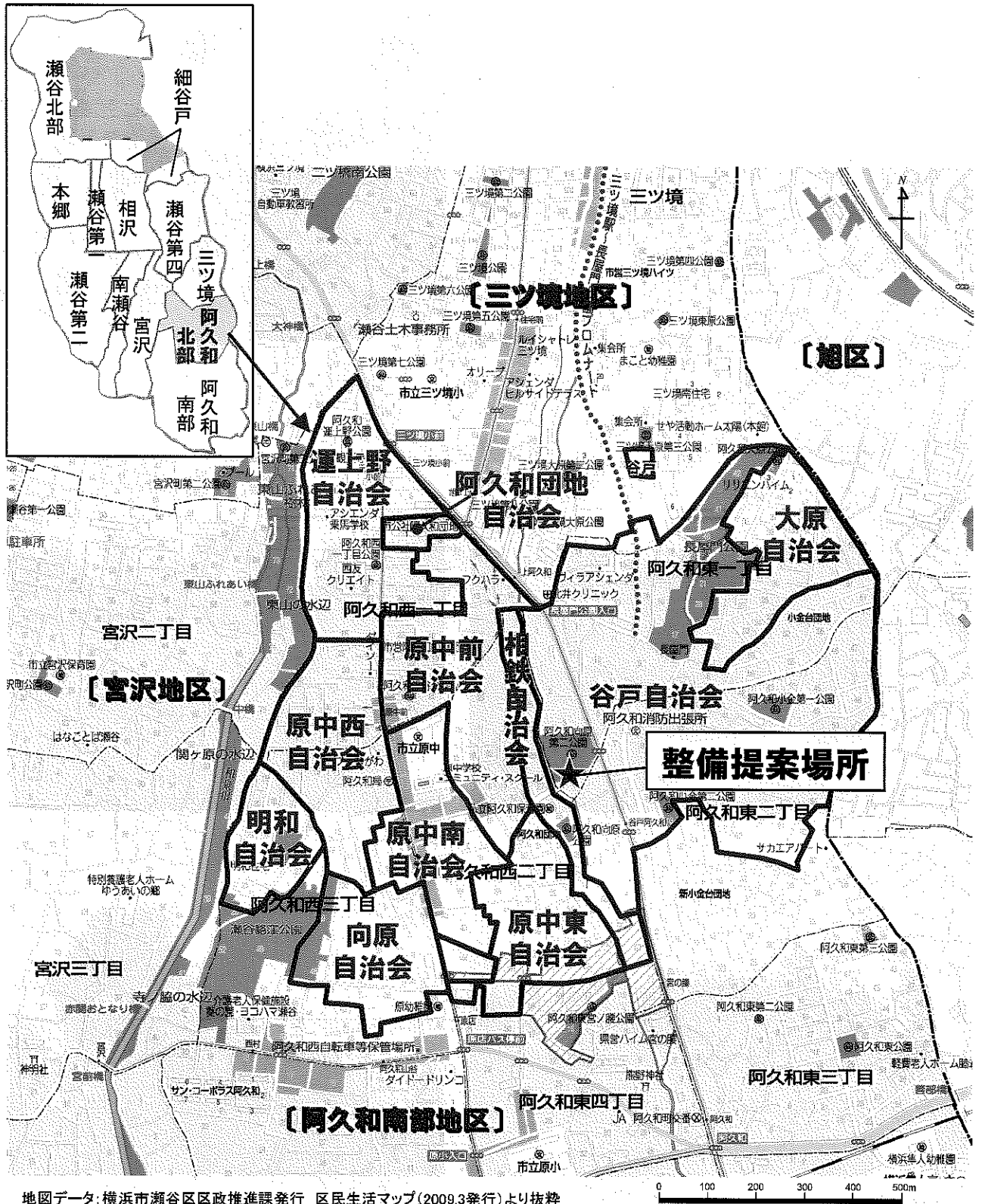
整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
<p>横浜市 (環境創造局公園緑地管理課) (瀬谷土木事務所)</p>	<p>施設の設置主体や設置に関する法令等の適合及びその運営体制や継続性について引き続き検討を要します。具体的なプランについては調整していくこととします。</p>

注5)土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

阿久和北部見守り合い拠点・大きな傘「みまもり広場」 整備提案 位置図



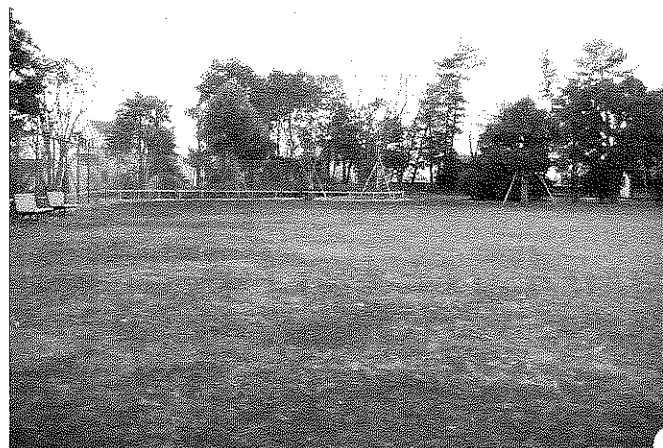
地図データ: 横浜市瀬谷区政推進課発行 区民生活マップ(2009.3発行)より抜粋

阿久和北部

見守り合い拠点

大きな傘「みまもり広場」

設備提案 現況写真



大きな傘のもとで…ふれあい、そして見守り合い

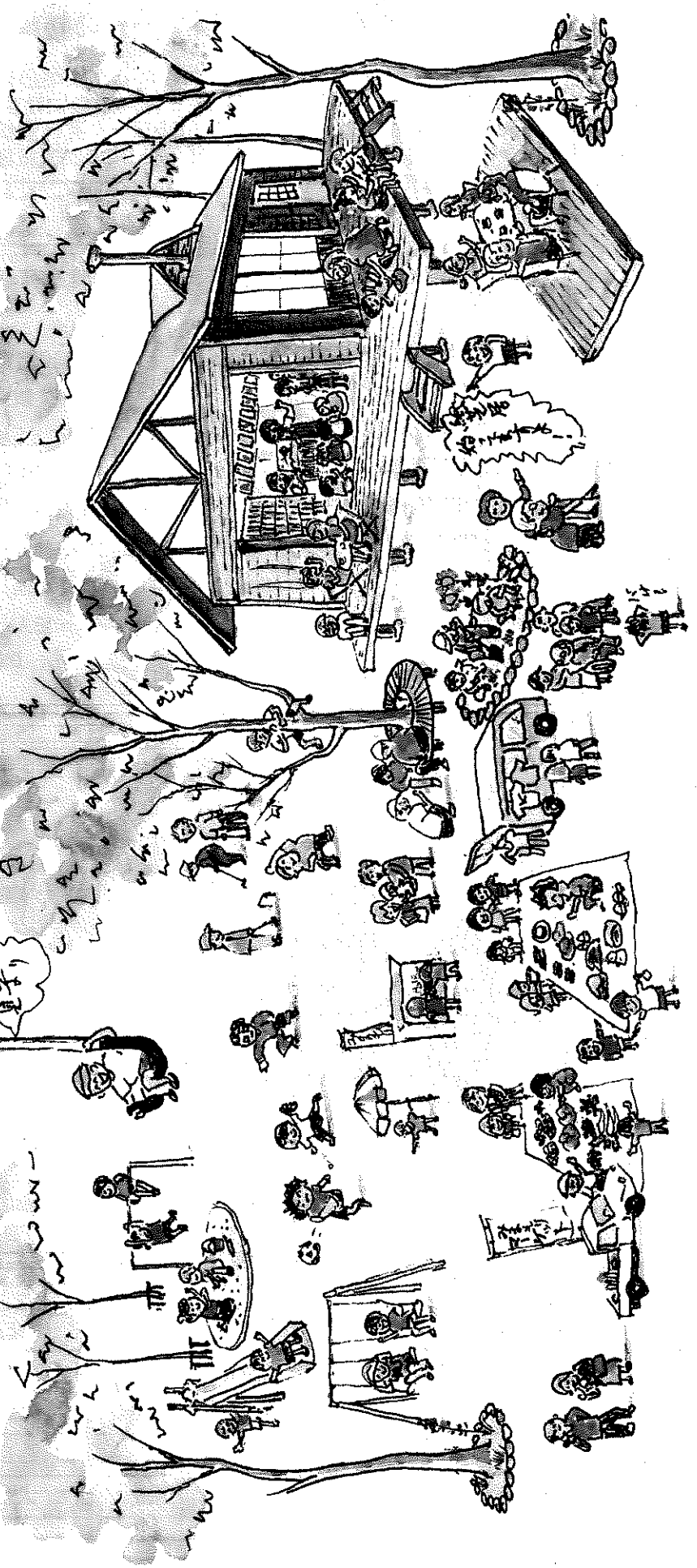
(阿久和北部見守り合い拠点)

「みまもり広場」

災害時は避難拠点として

移わった地域の人の

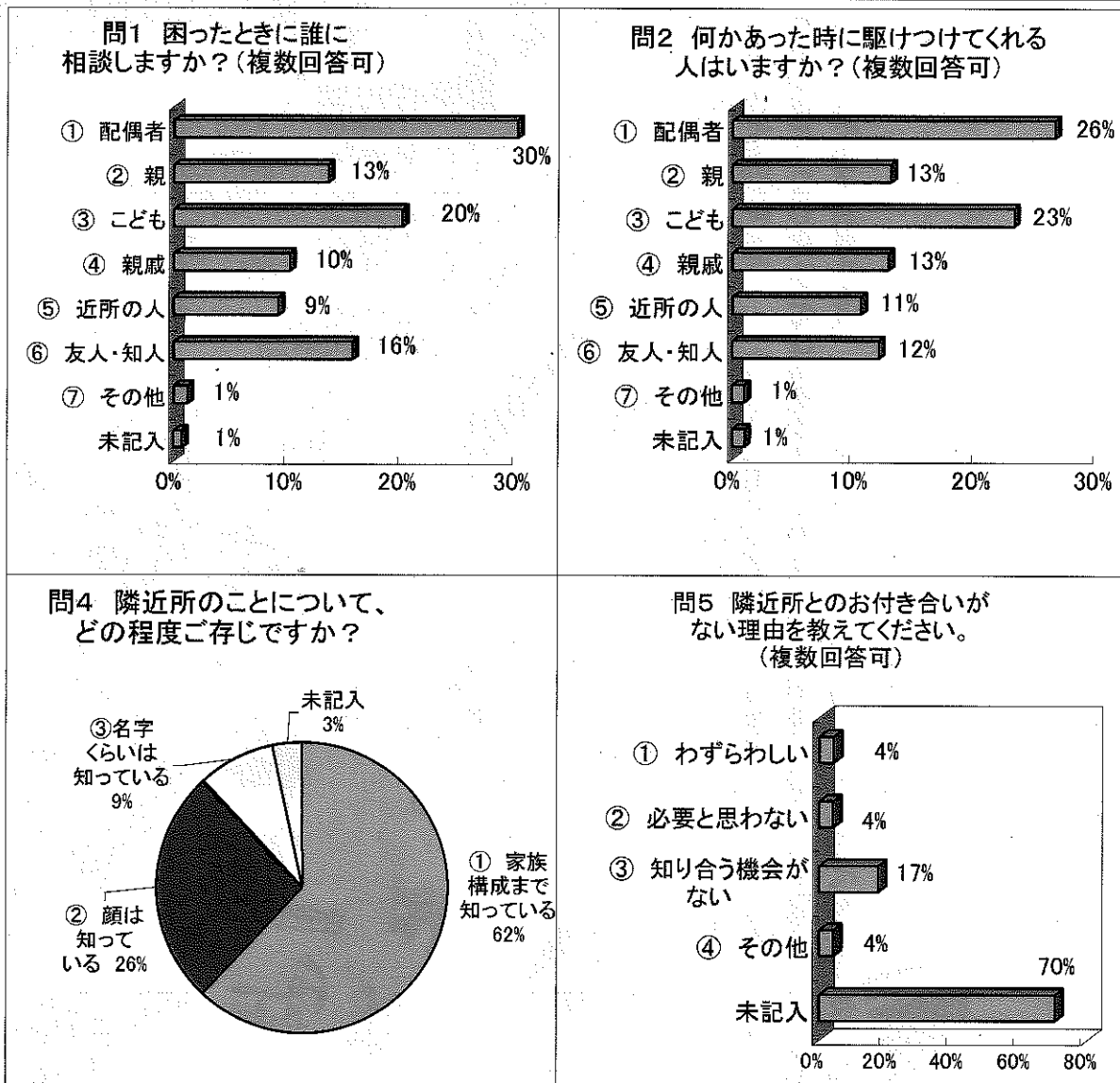
雨が降ったらお入りなさい 遊びにきたらお入りなさい 買い物あったらお入りなさい シャベリにきたらお入りなさい
悩みがあったらお入りなさい 身体を動かしたいならお入りなさい お話し聴きにお入りなさい 作品展賞にお入りなさい お花を伴にお入りなさい
将棋や囲碁をやりにお入りなさい 赤ちゃん・おはあちゃんを連れてお入りなさい みんなでみんなでお入りなさい



阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会で行組んだ 全世帯対象アンケートの結果（抜粋）

高齢・障害、ひとり暮らしなどさまざまな事情で支援が必要な方々が、住みなれた地域で安心して暮らし続けるためには、隣近所・向こう三軒両隣の助け合いの心がけがとて大切で。瀬谷区阿久和北部地区では「見守り合いネットワーク実行委員会」を発足させ、平成20年7月に全世帯アンケートを実施するなど、「身近な見守り」についてお住まいの皆さん一人ひとりが考えていくための活動をしてきました。

アンケート対象世帯数 3,581
回収数 2,782 回収率 78%



問14、15 阿久和北部の住みやすさと住みにくさ

順位	住みやすさ		住みにくさ
1	自然が残っている	24%	安心して歩ける歩道がない
2	落ち着いた環境	22%	交通の便が悪い
3	買い物が便利	17%	買い物が不便
4	交通の便がよい	13%	集会施設がない
5	人付き合いがよい	7%	自然が少ない
6	特になし	6%	人付き合いが悪い
7	地域活動が盛ん	4%	その他
	未記入	7%	未記入
			31%